

前向き姿勢で世界を拡大

○：先月二十八日から都筑区葛が谷公園で開催されるボードはコンクリート製の四枚ずつをキュー（細長い）シャフルボード講習 細長いコート上で一人が黄棒で交互に押し、コート

人物風土記

題字は 高秀信横浜市市長



●シャフルボード講習会で講師を務める

薩川 俊三さん

東本郷在住 66歳

の向こう端に描かれているように海外にも友人が増えた得点エリアに入れて勝敗をという。気心の知れた仲間競い合うゲーム。ビリヤーとのEメールでのやりとり、ドのようにディスク同士のクッションを使う楽しさやカーリングのように相手ディスクを跳ね飛ばす爽快感が味わえるという。適度な運動量と頭脳を駆使するこのゲームは英国や米国の特年輩者に人気がある。「日本での認知度はまだまだです。講習会を通じて少しでも多くの方にシャフルボードに関心を持ってもらいたいです」と語る。

○：日本シャフルボード協会の理事。シャフルボードに関する用語解説書などの著書も手掛けている。奥さんも熱心なシャフルボードプレイヤー。二人で試合によく出掛ける。国内から本場アメリカ、カナダまで遠征。シャフルボードを通じて前進するバイタリティ

話す。

○：昨年に会社を定年退職。リタイア後の生活は趣味のシャフルボードをはじめ写真やパソコンなどで楽しむ。子どもは娘さんと息子さんの二人。娘さんは結婚して今はドイツのミュンヘンに。「夏頃、娘のころへ遊びに行く予定です」と目を輝かせる。今秋からは念願の米国生活もおくる予定。「もちろん二人で行ってきます」。ソフトな口調だが張りのある声、肌つやが良いのは常に目的に向かつて前進するバイタリティからくるものだろう。